



とちぎ プラザ

ふお you

vol. 231

JAグループ栃木は、安全・安心な農畜産物の提供、地域社会への貢献など多彩な活動を展開しています。企画特集「ふお you とちぎ JAプラザ」では「豊かなくらしをサポート」をメインテーマに県内の農畜産物と生産者、直売所、JAグループ栃木の取り組みを紹介します。

【企画・制作 下野新聞社ビジネス局】

就農2年目 戦略考え栽培・収穫

JAの育成支援を受け 1年間研修

これから寒さが本格化する季節、鍋やすき焼きに欠かせない野菜といえば、独特の香りとほろ苦さが特徴の春菊。県内で春菊栽培が盛んなのはJAしおのやや菅轄のさくら市や高根沢町ですが、今回紹介するのはJAしおのやや春菊部会に所属する、就農2年目の福田聡さんです。

祖父の代から兼業農家として水稲栽培をしていた福田さん宅では、春菊は福田さんが就農した一昨年からはじめました。現在、20アールのほ場に、11棟のハウスを建て、

春から夏にかけてはナスを、秋から冬にかけては春菊を、主に姉と2人で栽培しています。

就農に際しては、JAしおのやの「新規就農者育成研修事業※」を利用。1年間の研修で基礎を学びつつ、休みの日には、現在も「師匠」と呼ぶ先輩農家のほ場に出向

ことを教えてもらいました。新規就農というイチゴなどが一般的ですが、初期投資を抑えつつ、初めから収量を見込める春菊とナスを選択。栽培体制やライフスタイルと合致していた点も大きな判断材料になりました。生産管理がしやすく、年末にかけて単価

昨年の出荷には手応えを実感

一方、春菊はそのほとんどが可食部分で、そもそも使える農薬が

少ないため、農薬の扱いにはとても気をつかいます。また、泥やほこりが葉につくと評価が下がってしまうため、収穫・調整作業も一つひとつ手作業で丁寧に行います。本来冷涼な土地で栽培される春菊にとって、近年の猛暑の影響は非常に大きいそうで、播種や定植時期の遅れや、ヨトウムシの被害が今年も心配されました。

福田さんが栽培した春菊は、全量がJAを通じて出荷されます。美味しい春菊は、色が若竹色で切り口がきれいなものだそうで、おすすめの料理はサラダやおひたし、ゴマあえなども美味しいそうです。

昨年は1日で最大42ケース出荷し、味も収量も手応えを感じることができました。今年の生育も順調だそうです。福田さんが目指すのは、「いつでも手に取れるおいしい春菊」。将来の目標は、春菊で勝負できる農家になることです。問い合わせはJAしおのや営

動画はこちら

JAしおのやの「春菊」



美味しい春菊が冬の食卓を飾る

美味い春菊が冬の食卓を飾る



春菊の生育を入念に確認



10月16日は国消国産の日

「国消国産」講座

Part2 日本の「食」は、どうなる？

日本の「食」が直面している 6つのリスク

私たちの食べものは、自然の力を活かし、多くの時間をかけて作られています。足りなくなったからといって、すぐに作ることはできません。でも、日本の「食」は今、多くのリスクを抱えています。

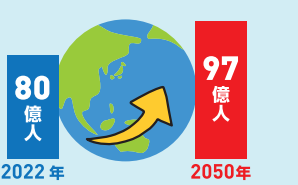
Risk 2

世界や日本で自然災害が増加。農業が受けるダメージは、どうなる？



Risk 4

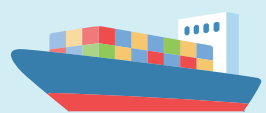
増え続ける世界の人口と食料需要。輸入に頼る日本は、どうなる？



※ 国連広報センターによる推計

Risk 1

食料の多くを輸入に頼る日本。輸入がもし止まったら、どうなる？



Risk 3

農家と農地が減っている。私たちの食べものは、どうなる？



※ 農水省による推計（「農業構造動態調査」より）

Risk 5

高止まりする肥料・家畜のエサ・燃料。農家の経営は、どうなる？



※ 農水省令和6年5月5日農業物価統計調査

食卓に「国産」を取り入れることが、日本の農業の応援につながります。

ここがポイント！

- ①日本の農業者と農地は減少し続けている。
- ②今後、世界の人口と食料需要は増える。
- ③農業生産にかかるコストは増加している。



国消国産特設サイト



育苗センターのハウス内で開花したマリーゴールド

JAおやま本店の花壇に植え付ける会員たち



JAおやま本店の花壇に植え付ける会員たち

JAおやま管内：小山市、野木町、下野市の旧国分寺町、旧石橋町 次回は12月18日JA佐野です。

地域の活性化 Information ~お知らせ~

JAおやま

女性会の「花いっぱい運動」

地域を彩り 活性化に貢献

JAおやま女性会（倉持晶子会長、会員343人）は、恒例の活動として「花いっぱい運動」を展開。同JA管内の環境美化や地域住民の交流促進に役立っています。

活動は10年ほど前にスタート。女性会内にあった年代別の3組織を一つにし、会員同士の交流を深め、地域貢献を通して会のさらなる魅力

を深め、地域貢献を通して会のさらなる魅力

を深め、地域貢献を通して会のさらなる魅力

を深め、地域貢献を通して会のさらなる魅力

を深め、地域貢献を通して会のさらなる魅力

を深め、地域貢献を通して会のさらなる魅力

を深め、地域貢献を通して会のさらなる魅力

を深め、地域貢献を通して会のさらなる魅力

を深め、地域貢献を通して会のさらなる魅力

を深め、地域貢献を通して会のさらなる魅力

を深め、地域貢献を通して会のさらなる魅力



マリーゴールドなどの種をまく女性会のメンバー

直売所のイチオシ！

JAかみつが 落合直売所



中心部が赤いめずらしいキウイ。見かけたらぜひ一度味わってみて

甘みたっぷりレッドキウイ

国道121号（例幣使街道）沿いに2021年にオープン。県産木材を使用した木の温もりが感じられる直売所です。

この時期、店先で「赤いキウイ」として紹介され、一番目立つ場所に置かれているのが「レッドキウイ」（1袋500g、およそ8〜10個入り）。果肉の外側は鮮やかなグリーンで中心部が赤い見た目のインパクトも抜群のキウイです。

現在は、長畑地区の義父から苗を受け継いだ福田真希さんをはじめ苗を譲り受けた生産者が栽培を続け納品しています。

同直売所の吉橋由美子店長は「小ぶりですが、甘みがとても強く、グリーンやゴールドとはまた違った味わいが楽しめます」と話します。今年は例年より収穫時期が早まったため、10月中旬から12月上旬までの販売を予定しています。



落合直売所の詳しい情報は「こちら」

【営業時間】午前8時～午後4時
【定休日】無休（年末年始を除く）
【所在地】日光市文挾町423-3 【電話】0288-27-2662

JAグループ栃木

お問い合わせ JA栃木中央会総務企画部
☎028-616-8540 <https://www.tcchu-ja.or.jp>



詳細はこちら

